

会社名が「三慶」から「サンケイ」になりました！

# サンケイかわら版



Bringing you  
the New Asian  
tastes and styles

酔えば酔うほど強くなる！！  
ジャッキー・チェンの酔拳  
(DVD『酔拳2』より)



八月号  
英雄・黄飛鴻の酔拳

今夏、チャンイーモウ監督の『HERO 英雄』が日本に上陸したが、中国の英雄と言えば、黄飛鴻(ウオン・フェイフォン)を思い出す。実在するカンフーの達人である。

黄飛鴻の映画やドラマは数え切れないほどあるが、映画では『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ(中国タイトルは、黄飛鴻の名前をそのまま冠している)』シリーズが有名で、彼のかっこよさを集約した名作といっても過言ではない！

主人公・黄飛鴻を演じるのはリー・リンチェイ(李連杰)/チウ・マンチェク(趙文卓)。(ちなみにリー・リンチェイ(ジェット・リー)は『HERO』の主人公の一人でもある。)胸板に垂らした辮髪(べんぱつ)を、シュッ！と後ろに跳ねさせて戦いのポーズに入る様は、もう、本当に、かっこ良すぎる。そして医師にしてカンフーの達人、そして人格者という、英雄の要素をしっかりと詰めた人なのである！ちなみに、私的には母語の中国語ではどもってばかりなのに、英語だとスラスラしゃべれちゃう人も面白くて好きだ。こういった笑いの部分も散りばめ、歴史的な問題にも触れる超娯楽的大河ドラマ 時代劇なのだ！

一般的な日本人には、おなじみジャッキー・チェン主演の『酔拳』の方が馴染みがあるだろう。こちらも娯楽大作として評価が高い(特に第一作)。飲めば飲むほど強くなる、英雄・黄飛鴻。ちょっと『ワンス・アポン〜』を見た後は、同一人物として捕らえるのが難しいが、どちらも黄飛鴻である。カンフーが強く、かっこいいことには変わらない。時代設定など史実と反したところもあるけれど、本当は副将軍なんかじゃなかった水戸黄門が副将軍としてずっとお茶の間に君臨しているんだから、別にいいじゃないか、という気分だ。

ともかく、『酔拳』の中で飲んで飲んで飲みまくる英雄は、小気味良いほど強い。でれーんとした赤ら顔も、キリッとしたリー・リンチェイとは違ったかっこ良さがある。

彼ががぶ飲みしている酒とはなんだろうか？ とにかく何でも、手当たり次第飲んでいる感じがする。

酔えば良いのなら、アルコール度数が高いほうが良いのだろうか？

そこで弊社の取り扱い商品でアルコール度数ベスト5を挙げてみた。

やはり白酒(パイチュウ)が強い！

白酒とは、コーリャン(高粱)を主に使用した、高アルコール度数の蒸留酒である。現在中国で最も一般的な酒と言って良い。

『固体発酵法』という、ごく少量の水で発酵させるという世界でも非常に稀な手法がとられている。水分をほとんど必要としない為、大地に掘った穴を直接発酵槽(“窖”という)として使用している。

現存する最も古い“窖”は、瀘州老窖特曲酒(5位)の蔵元に残っており、明朝時代のものだという。

## アルコール度数ベスト5

三星牌・高粱酒	62°
三星牌・五加皮酒	55°
三星牌・メイイ露酒	54°
貴州茅台酒	53°
千山白酒	53°
汾酒 カメ・ビン	53°
瀘州老窖特曲酒	52°
三星堆・神頭古酒	52°
五粮液	52°

株式会社サンケイ調べ

株式会社サンケイ 東京都江東区有明 1-4-13  
TEL 03-3529-2620 FAX 03-3528-1961  
<http://www.nas-sankei.co.jp/>